

御嵩町総合計画審議会（書面開催）

御嵩町第五次総合計画後期基本計画（案）に関するご意見まとめ

該当箇所	委員意見	事務局回答
12ページ 49ページ 70ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用について具体的なビジョンが資料からは読み取れない。人口低下が見込まれるのであれば若い世代を取り込む地域にするということはわかるが、現在子どもが遊べる公園など御嵩町には少ない状況で、今回の計画では子どもたちに関連する計画が見えてこない。 ・地域創生の推進で人口抑制の減少に努めていると記載してあるが、内容がわからず、御嵩町に住んでいてもその努めている姿勢がまったく見えてこない。 ・子育て世代が魅力ある地域にすることで、活気ある地域として進めることができるように、どのような計画があるのか発信すべきだと思う。 ・休日、御嵩町以外の人御嵩町にある公園に遊びに行くといった公園が一つあってもいいのではないのでしょうか？今回の総合計画にはこのような施設に対する投資があるのか発信してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用のビジョンについては、岐阜県や国（国土交通省）との協議により決定しなければならない場面が多々存在します。本計画では個別具体的なビジョンではなく大方針をお示ししており、ご指摘いただきました箇所にあつては、都市計画マスタープランをはじめとした個別計画において時代の潮流に合わせた具体的事例が示されるものをご理解ください。 参考：御嵩町都市計画マスタープラン https://www.town.mitake.lg.jp/portal/town/measure/various-plan/post0008520/ ・これまでのアンケート調査などからも、公園の充実に関しては多くのご意見をいただいております。本計画では、28ページ9行目の「子どもが歩いて行ける範囲で安心して遊べる場所の充実」を新たに追加し、展開を目指すものをご理解いただければと思います。 ・地方創生事業については、主に下記のURLで実施内容などを発信しています。 https://www.town.mitake.lg.jp/portal/town/measure/various-plan/post0016514/ <p>本計画は総合的な計画となりますので、個別具体的な計画は関連する別の計画でお示しさせていただきます。また、情報発信については課題の多い分野であると認識していますので、多様な方法で町民の皆さまや対外的にも多くの方に届く形での情報発信を追求します。</p>
20ページ	<p>成果指標「一般廃棄物生活系可燃物に占めるプラスチック製容器包装収集量の割合」→「一般廃棄物生活系可燃物に占めるプラスチック製容器包装分別収集量」の割合</p> <p>21ページのごみ減量の推移のグラフにはプラスチック製容器包装分別収集量と記載されており、分別の文字が入っていた方が比較対象がより明確になると思いました。</p>	<p>計画策定前の最終確認において変更したものがお示しできるよう準備します。</p>

該当箇所	委員意見	事務局回答
28ページ	障がい者福祉（スポーツ）の普及について 障がい者の生きがいを見出す一つとして、パラリンピックに代表される競技スポーツ、また、生涯スポーツとして楽しむことが必要とされる。障がいを持った方が自由かつ積極的に参加できる場づくりを今後充実することが肝要と思われま。	「御嵩町障がい者支えあいプラン」では、障がい者の文化芸術活動・スポーツ等の振興として、障がいのある方が参加するスポーツ等の支援、指導者の養成などのほか、地域の人々のふれあいの場となるような内容と機会の充実を掲げています。障がい者スポーツの振興については、個別具体的な計画である本プランに基づき展開していきます。
29ページ	官民連携（協力）体制の確立 御嵩町生活支援協議体は、平成29年度に設立されたが、委員の中からは「言わんとすることはわかるが実際には何ができるのか」といった声が多く実際には機能していないのが実情である。高齢化が進む中、ますます個々の「支え愛」「助け愛」が必要とされる昨今、今一度協議体の在り方を検討する必要があると思料します。	生活支援協議体の制度は、コーディネーターの養成と支援者の熱量のもとに成立するものであると考えます。担当課においても、今一度目的意識の共有などに努めるようご意見を伝えさせていただきます。
32ページ	子どもたちのスポーツに対する御嵩町としての考えとして、各団体が各自進めるのみで、町からの支援がない状況に思える。支援ということが施設があるということであれば仕方ないが。スポーツ少年団として指導者不足の中進めており、しっかりとスポーツがしたいのであればクラブチームに入ってくださいという流れになっており、御嵩町としてスポーツの振興とある内容は施設があるので各自でどうぞという姿勢でしかない。立派な施設がなくとも子どもたちが真剣に取り組むことができる指導者を雇うなど進めていき、御嵩町はこのスポーツの成績が良いといった亜炭のイメージから違うイメージに転換できるのではないのでしょうか？	全国的に少子化に歯止めがかからない中、子どもの絶対数が減少している中で大変苦勞されていることを事務局としても担当課としても肌で感じているところです。こうした中、担当課としてもスポーツ少年団を取り巻く課題は認識しておりますので、教育・夢プランなど個別具体的な計画に基づきスポーツ振興を展開するよう担当課にご意見を伝えさせていただきます。
審議会の運営について	私は総合計画審議会委員の委嘱を受け、今まで多くの事案について審議をしてきましたが、今回は書面開催という通知を受けとまどいました。御嵩町の将来を見据えた大切な総合計画の審議がこのような形でなされることは今まで聞いたことがありません。審議を軽視した感があります（法的根拠不明）。今後新型コロナウイルスの終息を見る中で随時審議を深めていただきたい。	本来であれば皆様と顔を合わせて行うことが望ましい会議であることを事務局としても重く認識しております。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている中、緊急事態宣言下において最上位計画の審議会が先陣を切って開催することに非常に頭を悩ませました。そのような中で町長・会長と相談させていただいた結果、人命最優先を選択させていただいた次第です。これからも皆様に進捗をご報告し、審議いただく場を継続してまいりますので、今回の緊急措置にあってはご理解をいただきたく存じます。

益川会長コメント

まずは、今回、対面での協議ができなかったこと、深くお詫びいたします。どうか事情をお察しいただき、ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご承知のとおり、総合計画は地方自治体の全ての計画の基本となり、最上位に位置づけられる計画です。その意味では、今回の案には、委員の皆様方から大変適切かつ貴重なご意見・ご助言を頂戴する中で、長期的な展望に立った計画的・効率的な行政運営の指針が盛り込まれたものと思います。厚くお礼申し上げます。

また、計画の継続性を担保する意味で、前期計画を概ね踏襲する内容ではあるものの、国土強靱化の事項など、時宜にかなった事項も適切に盛り込むことができたと考えます。

さらに、環境モデル都市の御嵩町らしく、SDGsにおける各事項の位置づけを明確にした点も、大変よかったのではないかと考えます。

加えて、前期の実績等も踏まえ、数値目標を適切なものに置き換えることができたこともよかったと思います。

今回いただいたご意見に対しては、上記「事務局回答」にあるような対応をさせていただきたいと思いますが、今後本計画の実質化をいかに進めていくかが重要になってまいりますので、引き続き、委員の皆様方のご指導・ご助言を賜りたいと考えます。引き続き、よろしくお願い申し上げます。